



ファームウェアバージョン:	R1.02.B043	
ハードウェアバージョン:	DXS-3610-54T DXS-3610-54S	A1
発行日:	2025/7/30	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI を使用したアップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	4
追加機能：	8
MIB の変更点：	8
CLI の変更点：	8
修正した問題点：	8
既知の問題：	9

変更履歴とシステム要件：

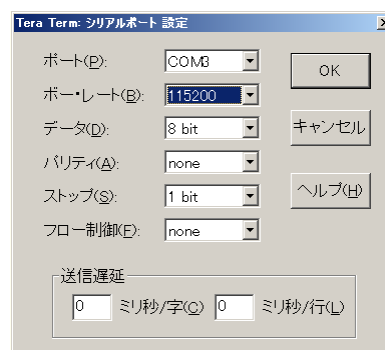
ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R1.02.B043	2025/7/30	DXS-3610-54T DXS-3610-54S	A1

アップグレード手順：

CLI を使用したアップグレード手順：

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 1 回押し、ログインします。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
enable	特権レベルに移行します。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE SOURCE-URL flash: PATHPATH-FILEFILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

- (1) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch>enable
```

```
Switch# copy tftp: //10.90.90.100/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had flash:  
DXS3610_A1_FW1_02_B043.had
```

```
Address of remote host [10.90.90.100]?
```

```
Source filename [DXS3610_A1_FW1_02_B043.had]?
```

```
Destination filename [DXS3610_A1_FW1_02_B043.had]?
```

```
Accessing tftp://10.90.90.100/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had...
```

```
Transmission start...
```

```
Transmission finished, file length 49992224 bytes.
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

- (2) ブートアップイメージを指定します。

```
Switch#
```

```
Switch#configure terminal
```

```
Switch(config)#boot image DXS3610_A1_FW1_02_B043.had
```

```
Switch(config)#exit
```

- (3) ブートアップイメージを確認します。

```
Switch#show boot
```

```
Unit 1
```

```
Boot image: /c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had
```

```
Boot config: /c:/config.cfg
```

- (4) スイッチを再起動します。

```
Switch#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

```
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch>**show version**

System MAC Address: AA-BB-CC-DD-EE-FF

Unit ID 1

Module Name: DXS-3610-54T

H/W: A1

Runtime: 1.02.B043

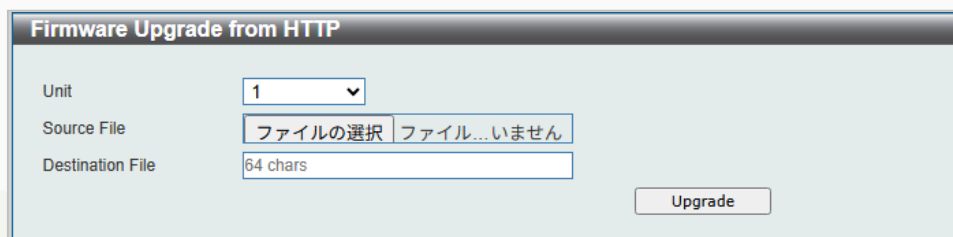
Switch>

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。
「User Name」(ユーザ名)と「Password」(パスワード)の初期値は「admin」です。
4. HTTP、TFTP、FTP、RCP のいずれか経由でファームウェアアップグレードを実行します。

HTTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

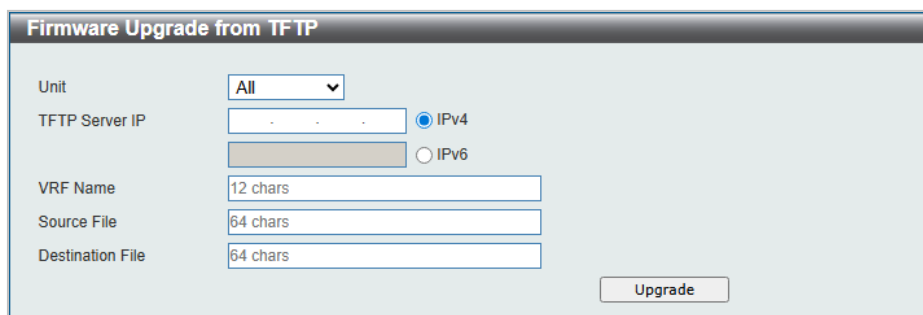
Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from HTTPの順にクリックし、必要な情報を入力します。



- Unit: ユニットを選択します。
- Source File : 「ファイルの選択」をクリックしてローカル PC 上のファームウェアファイルの場所を指定します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had)

TFTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

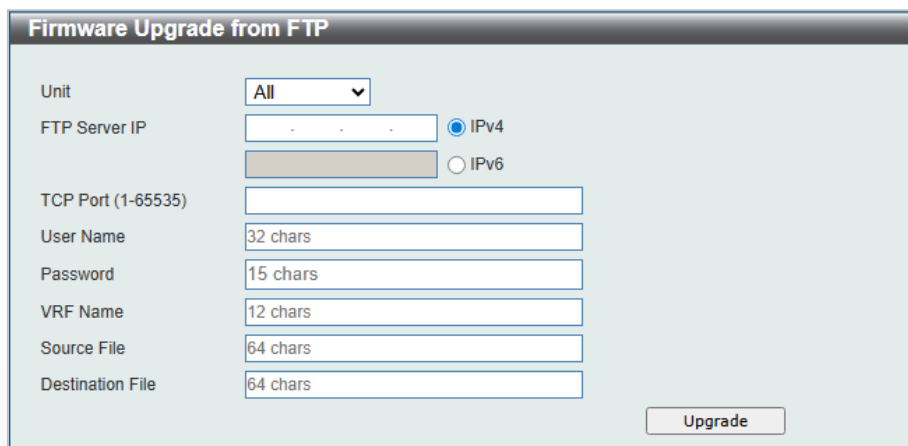
Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP の順にクリックし、必要な情報を入力します。



- Unit: ユニットを選択します。
- TFTP Server IP: 「IPv4」または「IPv6」を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- VRF Name (EI モードのみ): VRF インスタンス名を入力します。
- Source File: TFTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File: ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例: c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had)

FTP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

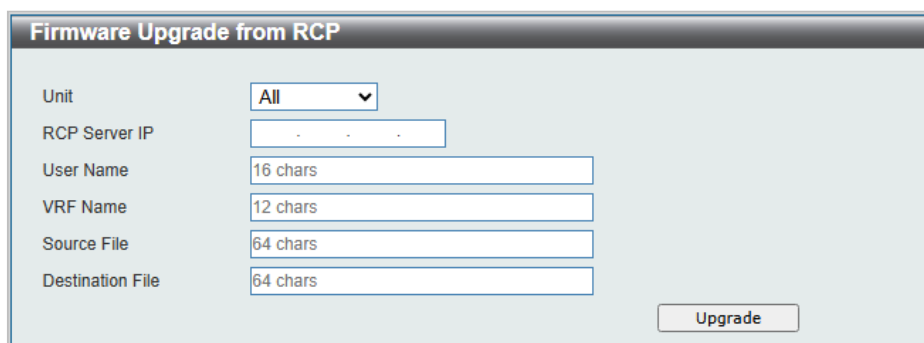
Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from FTP の順にクリックし、必要な情報を入力します。



- Unit: ユニットを選択します。
- FTP Server IP: 「IPv4」または「IPv6」を選択し、FTP サーバの IP アドレスを入力します。
- TCP Port (1-65535): TCP ポート番号を指定します。
- User Name: FTP 接続に使用するユーザ名を指定します。
- Password: FTP 接続に使用するパスワードを指定します。
- VRF Name (EI モードのみ): VRF インスタンス名を入力します。
- Source File: FTP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File: ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例: c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had)

RCP 経由でファームウェアアップグレードを実行する

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from RCP の順にクリックし、必要な情報を入力します。



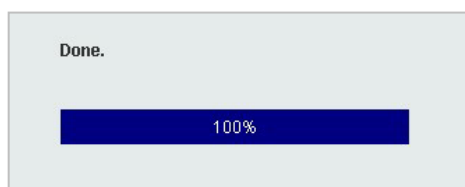
The screenshot shows the 'Firmware Upgrade from RCP' configuration window. It contains the following fields:

- Unit: A dropdown menu currently set to 'All'.
- RCP Server IP: A text input field with a placeholder ' . . . '.
- User Name: A text input field with a placeholder '16 chars'.
- VRF Name: A text input field with a placeholder '12 chars'.
- Source File: A text input field with a placeholder '64 chars'.
- Destination File: A text input field with a placeholder '64 chars'.
- An 'Upgrade' button is located at the bottom right.

- Unit: ユニットを選択します。
- RCP Server IP: RCP サーバの IP アドレスを入力します。
- User Name: RCP 接続に使用するユーザ名を指定します。
- VRF Name (EI モードのみ) : VRF インスタンス名を入力します。
- Source File : RCP サーバ上にあるファームウェアのパスとファイル名を入力します。
- Destination File : ファームウェアが保存されるスイッチの場所を指定します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had)

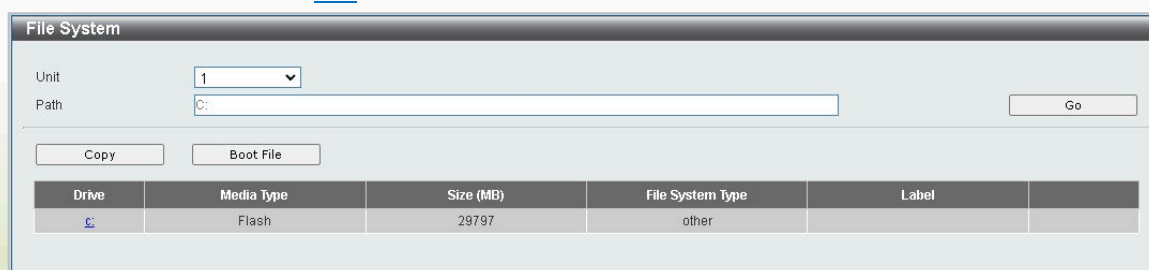
5. 「Upgrade」ボタンをクリックします。

6. ステータス画面が表示されます。「Done.」(完了) ステータスが表示されるまで待機します。



注意 : ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

7. **Management > File System** の順にクリックし、ブートアップイメージの指定を行います。以下の画面で Drive 欄の C: をクリックします。



The screenshot shows the 'File System' configuration window. It includes:

- Unit: A dropdown menu set to '1'.
- Path: A text input field containing 'C:'. A 'Go' button is to its right.
- Buttons: 'Copy' and 'Boot File' buttons are located below the Path field.
- Table: A table showing drive information.

Drive	Media Type	Size (MB)	File System Type	Label
C:	Flash	29797	other	

8. R1.02.B043 のファームウェアが存在することを確認し、「Boot File」をクリックします。

File System

Unit: 1

Path: c/

Go

Previous Create Directory Copy Boot File

Index	Attr	Size (byte)	Update Time	Name	
1	-rw	5064	Jul 16 2025 11:48:18	config.cfg	Rename Delete
2	d--	4096	Jul 16 2025 11:48:18	system	Delete
3	-rw	49992224	Jul 16 2025 11:43:34	DXS3410_A1_FW1_00_B0...	Rename Delete
4	-rw	50004512	Sep 10 2024 13:46:06	dxs-3610-R1.01.B039...	Rename Delete
5	-rw	49992224	Jul 16 2025 11:46:21	DXS3610_A1_FW1_02_B0...	Rename Delete
6	-rw	49943072	Feb 07 2022 07:13:11	dxs-3610-R1.00.B052...	Rename Delete
7	-rw	50004512	Jun 19 2023 14:53:28	DXS3610_A1_FW1_01_B0...	Rename Delete

31245213696 bytes total (30921244672 bytes free)

1/1 < < 1 > > Go

9. R1.02.B043 をブートアップファイルに指定し、「Apply」をクリックします。

File System

Unit: 1

Path: c/

Go

Boot File

Unit: 1

Boot Image: C:/firmware.had

Boot Configuration: C:/config.cfg

Apply Cancel

Unit	Boot Image	Boot Configuration
1	/c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had	/c:/config.cfg

- Unit : ユニットを選択します。
- Boot Image : ブートイメージファイルのパスを入力します。
(例 : c:/DXS3610_A1_FW1_02_B043.had)
- Boot Configuration : ブートコンフィグファイルのパスを入力します。

10. ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。

11. スイッチを再起動します。

Tools > Reboot System をクリックし、「Reboot」をクリックします。

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

12. システムの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R1.02.B043	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストームコントロールにおいて、しきい値設定で「0」の設定に対応致しました。 2. TLS 1.2 について以下の暗号化に対応いたしました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256 ・ ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384 3. ファンの速度調整について、3 段階から 5 段階に更新致しました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.02.B043	特になし

CLI の変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.02.B043	<ol style="list-style-type: none"> 1. storm-control コマンドのしきい値設定で「0」の設定に対応致しました。 2. ssl-service-policy コマンドで以下の暗号化オプションに対応致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ecdhe-rsa-aes-128-gcm-sha256 ・ ecdhe-rsa-aes-256-gcm-sha384

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.02.B043	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mgmt 0 に IPv4 アドレスが設定されていない場合、システムログ機能および SNMP トラップ機能について、送信元インタフェースを指定しているにも関わらず、経路の出口の IPv4 アドレスが使用される問題を修正致しました。 2. Ring トポロジのスタック構成でご利用の場合に、予約済みマルチキャスト宛てのパケットが重複して送信される問題を修正致しました。 3. スタック構成でご利用の場合に、スタックマスタの交代に伴い、OSPF の状態が Full にならない問題を修正致しました。 4. VLAN インタフェースの Allowed VLAN で指定される Vlan の数が 530 を超える場合、WebUI の「Configure VLAN Interface」画面で設定の変更ができない問題を修正致しました。 5. MGMT インタフェースにデフォルトゲートウェイが設定されている場合、SNMP トラップおよびシスログが送信されない問題を修正致しました。 6. IGMP スヌーピング/MLD スヌーピング機能で Fast Leave を有効にしている場合、予期せぬ再起動が発生する場合がある問題を修正致しました。 7. マルチキャストフィルタリングモードの「Filter Unregistered」を設定した場合、マルチキャスト通信を適切に処理できない問題を修正致しました。 8. SSH/Telnet 接続が利用不可になる場合がある問題を修正致しました。 9. WEB 認証において、12 桁の IP アドレスが設定された仮想 URL へ接続を行った場合、システムが再起動する問題を修正致しました。 10. IPv6 LLA パケット増加時、OSPF ネイバがダウンする問題を修正致しました。 11. SSH セッションが適切に終了せず、CPU が高負荷状態になることがある問題を修正致しました。

た。

12. CLI を使用して多数の VLAN および VLAN 名を設定し、保存、再起動を実行後、システムが繰り返し再起動する場合がある問題を修正致しました。
13. SFP モジュールの抜き差しやコマンドによる設定を同時/繰り返し行った場合、システムが再起動する場合がある問題を修正致しました。
14. VPLS トンネルが利用不可となる場合がある問題を修正致しました。
15. システム再起動後に"mac-address-table static"が無効になる問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	問題点
R1.02.B043	1. 何度も連続して再起動を行った場合に、ごく稀に起動に失敗することがある問題(チップ制限) 解消方法：再度、再起動することで解消します。

Copyright 2025 D-Link Japan K.K.